

編集後記

遅くなりましたが、2015 年 6 月号をお届けします。まず、巻頭言は小川商会・高知大学の樋口先生に「メーカー・学・官・ユーザー連携の再構築」と題していただきました。冒頭の「ビジネスを順調に続けることは難しい！」はまさにこの寄稿のダイジェストとも言える内容で、FIA の発展のためには 4 者連携に対するたゆまぬ努力が必要と感じました。

指標は角田先生に雑感と題してご寄稿いただきました。先生の研究の歴史を具体例も交えながら説明いただき、FIA 研究会の重要性を再認識しました。

研究論文は、それぞれ、田中先生、タイの Lapanantnoppakhun さん、および手嶋先生のグループよりの投稿を掲載しました。FIA フロントラインは島村先生より、近年、機能性で注目されているポリピロールの定量法について解説していただきました。また、トピックスには鈴木先生より、CMOS ベースのレシオメトリック光学センサについてハードウェアのレベルから解説していただきました。

報告は、FIA の JIS 化について樋口先生より、TRF セミナーについて酒井先生・本水先生より、PITTCON2015 について鈴木先生より、それぞれご寄稿いただきました。学会情報は竹内先生にお纏めいただきました。

最後に 2014 年度から始まりました JFIA Selection 賞について、少し書かせていただきます。JFIA Selection 賞は本誌の活性化を

目指して設けられた賞で、編集委員の投票によってその年度の優秀な研究論文を表彰します。これは、本誌の論文賞であり、日本分析化学会 Analytical Sciences 誌の Hot Article に対応する位置づけです。最初の受賞論文は、お知らせ欄に記載の通りで、2014 年度の研究論文の中から 1 報を選択しました。今後もおおよそ 20% の論文を表彰したいと考えていますので、来年の受賞を目指してふるってご投稿ください。

以上、皆様のご協力の下、今回も充実した内容の本ができましたことをうれしく思います。今後とも、近況を含め、皆様からの積極なご寄稿をお待ちしています。

JFIA 編集委員長 長岡